



南高SSHだより

第3号
H27.9.8
新潟南高等学校
SSH部発行

アメリカ研修に行ってきました！ 1年9組 理数コース42名 アメリカ合衆国 ポストン・オーランド 7月28日(火)～8月7日(金) 10泊11日

新潟南高校 2015年 アメリカ研修 11日間 行程表		期日/平成27年7月28日(火)～8月7日(金)				
日	出発地/滞在地名	交通機関	時刻	内容	宿泊	食事
第1日 7月28日 (火)	新潟(学校)発 羽田空港着 羽田空港発	専用バス DL636	15:30	新潟南高校集合(職員玄関前)	ミネソタ	
			16:00	貸切バスにて羽田空港へ	ミネソタ	
	ロサンゼルス着 ロサンゼルス発	DL2533	21:30	羽田空港到着	ミネソタ	朝食:各自
			00:30	出国手続き、ロサンゼルスを経由し、空路ポストンへ。 …【日付変更線通過】か…	ミネソタ	夕:機内
第2日 7月29日 (水)	ポストン着	専用バス	06:47	ロサンゼルス着(7/28の夜となり)【約10時間30分のフライト】	ミネソタ	
			08:00	ロサンゼルス発(7/28の夜となり)【約5時間40分のフライト】	ミネソタ	
	徒歩 地下鉄 地下鉄 地下鉄		08:00	ポストン到着(7/29の早朝)【約5時間40分のフライト】	ミネソタ	朝:○
			09:30	到着後、専用バスにてウェントワース工科大学学生寮へ移動、チェックイン。学生寮にて朝食と休憩(シャワー可)。	ミネソタ	
	徒歩 地下鉄 地下鉄		09:30	オリエンテーション	ミネソタ	
			11:00	ノースイースタン大学キャリアセンターにて各自昼食	ミネソタ	昼:各自
	徒歩 地下鉄 地下鉄		13:00	MITプライベートレクチャー: MIT教授(元宇宙飛行士)「宇宙学」JEFFERY HOFFMAN 氏	ミネソタ	
			14:30	コープリープレイス散策(アメリカ最古のポストン公共図書館など)	ミネソタ	
	徒歩 地下鉄		16:30	ウェントワース・インスティテュート・テクノロジー大学寮到着	ミネソタ	
			17:00	学生寮内レストランにて夕食	ミネソタ	夕:○
	徒歩		17:30	英語コミュニケーションクラス「本日の研修のまとめ」	ウェントワース工科大学学生寮	ポストン泊
			17:30	英語コミュニケーションクラス「本日の研修のまとめ」	ウェントワース工科大学学生寮	
第3日 7月30日 (木)	ポストン	地下鉄 徒歩 地下鉄 徒歩	08:00	大学寮内で朝食	ウェントワース工科大学学生寮	朝:○
			08:30	英語コミュニケーションクラス「本日の研修について」	ウェントワース工科大学学生寮	
	地下鉄 徒歩 地下鉄 徒歩		09:30	大学寮を出発	ウェントワース工科大学学生寮	
			10:00	ハーバード大学/MITが共同で運営するブロードインスティテュート訪問・見学	ウェントワース工科大学学生寮	
	徒歩 地下鉄 徒歩		11:30	ケンボ・スクエアで各自昼食。その後、MITコープ見学。	ウェントワース工科大学学生寮	昼:各自
			12:00	ハーバードプライベートレクチャー: ウィース研究所「合成生物学」AVI ROBINSON-MOSHER氏	ウェントワース工科大学学生寮	
	徒歩		15:30	ダナ・ファーマー癌研究所訪問・見学	ウェントワース工科大学学生寮	
			17:00	市内のフードコートにて各自夕食	ウェントワース工科大学学生寮	夕:各自
	徒歩		18:30	大学寮到着	ウェントワース工科大学学生寮	
			19:00	英語コミュニケーションクラス「本日の研修のまとめ」	ウェントワース工科大学学生寮	ポストン泊
第4日 7月31日 (金)	ポストン	地下鉄 徒歩 徒歩 地下鉄 徒歩	08:00	大学寮内で朝食	ウェントワース工科大学学生寮	朝:○
			08:30	英語コミュニケーションクラス「本日の研修について」	ウェントワース工科大学学生寮	
	地下鉄 徒歩 徒歩 地下鉄 徒歩		09:00	大学寮を出発	ウェントワース工科大学学生寮	
			10:00	Aグループ: MITキャンパスツアー、Bグループ: MITミュージアム見学&ワークショップ(ロボテックス)	ウェントワース工科大学学生寮	
	地下鉄 徒歩 地下鉄 徒歩		13:30	MIT学生センターにて各自昼食	ウェントワース工科大学学生寮	昼:各自
			17:00	Aグループ: MITミュージアム見学&ワークショップ(ロボテックス)、Bグループ: MITキャンパスツアー	ウェントワース工科大学学生寮	
	地下鉄 徒歩		18:30	ポストン大学生(ハーバード大学生、MIT大学生)とのパネルディスカッション	ウェントワース工科大学学生寮	夕:○
			20:00	市内レストランにて夕食	ウェントワース工科大学学生寮	
	地下鉄 徒歩		20:30	大学寮到着	ウェントワース工科大学学生寮	
			20:30	英語コミュニケーションクラス「本日の研修のまとめ」	ウェントワース工科大学学生寮	ポストン泊
第5日 8月1日 (土)	ポストン	地下鉄 徒歩 徒歩 地下鉄 地下鉄	08:30	大学寮内で朝食	ウェントワース工科大学学生寮	朝:○
			09:00	英語コミュニケーションクラス「本日の研修について」	ウェントワース工科大学学生寮	
	地下鉄 徒歩 徒歩 地下鉄 地下鉄		09:30	大学寮を出発	ウェントワース工科大学学生寮	
			10:30	ハーバード自然史博物館訪問・見学	ウェントワース工科大学学生寮	
	徒歩 徒歩 地下鉄 地下鉄		12:30	ハーバードスクエア内または近隣カフェテリアにて各自昼食	ウェントワース工科大学学生寮	昼:各自
			14:00	ハーバード大学キャンパスツアー	ウェントワース工科大学学生寮	
	地下鉄 地下鉄		15:30	ハーバードコープ見学	ウェントワース工科大学学生寮	
			17:00	ポストン市内のレストランにて夕食	ウェントワース工科大学学生寮	夕:○
	地下鉄 地下鉄		18:30	大学寮到着	ウェントワース工科大学学生寮	
			19:00	英語コミュニケーションクラス「本日の研修のまとめ」	ウェントワース工科大学学生寮	ポストン泊
第6日 8月2日 (日)	ポストン発 オーランド着	専用バス DL1315	05:30	大学寮を出発	ウェントワース工科大学学生寮	
			06:00	空港到着(シネラル・エドワード・ローレンス・ローガン国際空港)	ウェントワース工科大学学生寮	朝:BOX
	専用バス		07:54	空路、オーランドへ(直行便利用)【約8時間5分のフライト】	ウェントワース工科大学学生寮	
			10:58	オーランド到着	ウェントワース工科大学学生寮	
	専用バス		12:30	スーパーマーケットにて市場調査	ウェントワース工科大学学生寮	
			15:00	レストランにて各自昼食	ウェントワース工科大学学生寮	昼:各自
	専用バス 徒歩		17:30	ホテルチェックイン	ウェントワース工科大学学生寮	
			19:00	レストランにて夕食	ウェントワース工科大学学生寮	夕:○
	専用バス		19:00	英語コミュニケーションクラス「本日の研修のまとめ」	ウェントワース工科大学学生寮	オーランド泊
			19:00	英語コミュニケーションクラス「本日の研修のまとめ」	ウェントワース工科大学学生寮	
第7日 8月3日 (月)	オーランド	専用バス	08:00	ホテルにて朝食	ウェントワース工科大学学生寮	朝:○
			09:00	ホテルを出発	ウェントワース工科大学学生寮	
	専用バス		10:00	英語コミュニケーションクラス「本日の研修について」(バス内にて)	ウェントワース工科大学学生寮	
			10:00	ケネディ宇宙センター到着(IMAX3Dシアター、7ホドVセンター、スペースシャトル・アトランティスなど)	ウェントワース工科大学学生寮	
	専用バス 徒歩		18:00	同センター内にて各自昼食	ウェントワース工科大学学生寮	昼:各自
			18:00	帰路途中のレストランにて各自夕食	ウェントワース工科大学学生寮	夕:各自
	専用バス		19:00	ホテル到着、チェックイン。	ウェントワース工科大学学生寮	
			20:00	英語コミュニケーションクラス「本日の研修のまとめ」	ウェントワース工科大学学生寮	オーランド泊
第8日 8月4日 (火)	オーランド	専用バス	08:00	ホテルにて朝食	ウェントワース工科大学学生寮	朝:○
			09:00	ホテルを出発	ウェントワース工科大学学生寮	
	専用バス		10:00	英語コミュニケーションクラス「本日の研修について」(バス内にて)	ウェントワース工科大学学生寮	
			11:30	キンニー湿原(小雨決行、雨天中止の場合はサイエンスセンター)	ウェントワース工科大学学生寮	
	専用バス		15:00	企業訪問: メイザーロボティクス(脊髄と脳の外科手術)	ウェントワース工科大学学生寮	昼:○
			18:00	市内レストランにて夕食	ウェントワース工科大学学生寮	夕:○
	専用バス		19:30	英語コミュニケーションクラス「本日の研修のまとめ」	ウェントワース工科大学学生寮	オーランド泊
			19:30	英語コミュニケーションクラス「本日の研修のまとめ」	ウェントワース工科大学学生寮	
第9日 8月5日 (水)	オーランド発 ロサンゼルス着 ロサンゼルス発	専用バス DL185 DL637	06:30	ホテル出発	ウェントワース工科大学学生寮	朝:BOX
			10:04	空路、オーランドからロサンゼルスへ。【約5時間30分のフライト】	ウェントワース工科大学学生寮	昼:各自
	専用バス		12:14	ロサンゼルス国際空港到着	ウェントワース工科大学学生寮	夕:各自
			18:40	飛行機を乗り継ぎ、空路帰国の途へ。【約11時間50分のフライト】	ウェントワース工科大学学生寮	機内泊
第10日 8月6日 (木)	羽田空港着 羽田発	専用バス	22:30	到着後、入国手続き	ウェントワース工科大学学生寮	朝:機内
			00:00	貸上バスにて新潟へ	ウェントワース工科大学学生寮	昼:×
第11日 8月7日(金) 8月10日(月)			06:00	新潟南高校到着。お疲れさまでした。解散、帰宅。	ウェントワース工科大学学生寮	夕:×
			09:00	全員登校。LL教室集合。事後学習についての説明。アンケートなど。	ウェントワース工科大学学生寮	



全行程です。朝から晩まで、みっちり、研修でした。



研修1日目 7月28日(火) 新潟出発 校長先生、保護者の皆様のお見送りを受けて。
研修2日目 7月29日(水) ポストン1日目 オリエンテーション、MIT 特別講義「宇宙学」など



写真左 ポストン到着の午前、早速、Trip Leader の Derek、Ben、Kaori からオリエンテーション。はじめは堅かったが、やがて手が挙がるようになり、英語で受け答えもできるようになりました。
写真中 午後、MITで、元宇宙飛行士 Jeffrey Hoffman 先生より「宇宙学」の特別講義。大変面白い講義で、質問の手が次々に挙がり、時間が少し延びてしまうほどでした。
写真右 コープリープレイス見学。アメリカ最古の図書館、ポストン公共図書館などを見学。

研修3日目 7月30日(木) ポストン2日目 医療・生物学(ブロードインスティテュート、ダナ・ファーバーなど)



写真左 午前、MITとハーバード大学が共同で運営するブロードインスティテュートを見学。加藤先生の講演は、医療や薬学の問題、科学者のあり方と現実など、大変感銘深いものでした。
写真中 午後、Harvard Medical School で、Avi 先生の「合成生物学」の難しい講義を聴きました。
写真右 ダナ・ファーバー癌研究所を見学。多くの人々の寄付と奉仕で支えられている、美術館のように美しい病院です。一原先生による講演では、課題が出され、班ごとに考えて発表しました。

研修4日目 7月31日(金) ポストン3日目 MIT (マサチューセッツ工科大学)、大学生とディスカッション



写真左 2班に分かれて、MITミュージアム見学とMITキャンパスツアーを行いました。ミュージアムでは模型自動車の動きをプログラムして、ルンバの動きに似せる実習をしました。
写真中 MITの学生の案内でキャンパスツアー。巨大なロジャーズビルディングの内部。“INVENT”、“DESIGN”、“EDUCATE”、“DISCOVER”の4つの大きな旗が掲げられています。
写真右 MIT、ハーバード大学の学生を招いてディスカッションを行いました。大勢の前では発言の少ない生徒も、両大学の学生と話すことができ、大変貴重な経験となりました。



←ポストンの宿舎となったウェントワース工科大学学生寮の部屋。



←朝、晩は英語コミュニケーションクラス。
→地下鉄内で一般の方とも交流。



研修5日目 8月1日(土) ポストン4日目 ハーバード大学

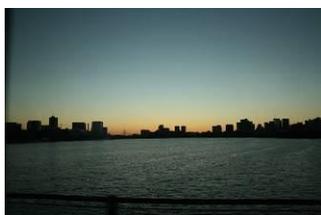


写真左 午前、ハーバード大学自然史博物館見学。Glass Flower など、多くの素晴らしい展示がありました。博物館で学んだことを、木立の美しいキャンパス内で発表しました。

写真中 午後、ハーバード大学の学生の案内で、キャンパスツアーを行いました。ハーバード大学の学生生活のお話も聞くことができ、貴重な体験でした。

写真右 この日の英語コミュニケーションクラス「本日の研修のまとめ」は、野外音楽堂からのジャズが流れる中、木立の美しい公園、ポストン・コモンで行いました。

研修6日目 8月2日(日) ポストンからオーランドへの移動日



←さようなら。
ポストン。

《飛行機移動》

こんにちは。→
オーランド。



→大型スーパーマーケット
で買い物体験。後、
バス内で英語発表。



研修7日目 8月3日(月) オーランド2日目 ケネディ宇宙センター



写真左 ケネディ宇宙センター、スペースシャトル・アトランティス。大音響を伴う大スクリーンの映像、本物のスペースシャトル。そして、振動も伴うシャトル発射疑似体験には興奮しました。

写真中 ケネディ宇宙センター、バスツアー。巨大なシャトル組み立て工場。シャトルを発射台へ移動させる巨大な台車やロケット発射台などを、運転手の英語解説付きで見学しました。

写真右 アポロ/サターンVロケット。これも、大スクリーンによる苦難のアメリカ宇宙開発史の映像の後に、巨大なロケット出現。IMAX Theaterでは、ハッブル宇宙望遠鏡の3D映画も鑑賞。

研修8日目 8月4日(火) オーランド3日目 キシミー湿原、企業訪問(メイザーロボティクス)



写真左 午前、キシミー湿原、ワイルド・フロリダ・パーク。レンジャーの方から、キシミー湿原の生態系の解説がありました。その後、Alligatorの子供が登場。触らせて頂きました。

写真中 午後、キシミー湿原をエアボートで探索しました。果てしなく広がる大湿原で、今まで見たこともない植物や動物、野生のAlligatorも観察することができました。

写真右 企業訪問、メイザーロボティクス。ロボットを用いた手術に関する企業です。特に脊髄の手術において新しい技術を開発しています。大変優遇され、生徒からも盛んに質問が出ました。

研修8～11日目 8月4日(火)夜～7日(金)朝 **アメリカ最後の夜から帰国**



←8月4日、アメリカ最後の夜、夕食後、DerekとBenから修了証が1人ずつ手渡しされ、その後、クラス代表がお礼の言葉。
→8月5日、オーランド国際空港で2人とお別れ。本当にありがとう。



※ロサンゼルス国際空港で離陸直前に飛行機の不具合が見つかり、急きょ、別の飛行機に乗り換えるというハプニングがありました。しかし、8月7日(金)の朝には、全員元気に新潟南高校に帰ることができました。この研修を通して、英語や科学だけでなく、将来のリーダーとして、生徒たちは一段と成長しました。



←オーランドのホテルの部屋。チップを置くと掃除もしてもらえました。



←夕食。この日はステーキ。

→移動のバスの中でも、英語による研修。



Objective

• Become a global citizen and leader

- o *What does this mean?* Having awareness not only of yourself and your life, but being a good and productive member of your family (as a son, daughter, and in the future, mother and father) ; contributing to your community (town, city), your country, and much more globally, the world.
- o *What can we be taught from learning about another culture?* Learning the way Americans communicate - Language, non-verbal communication and social etiquette. Learning about how other individuals live and how they have chosen to construct their lives; what we can learn about American Culture; other cultures, our own culture; the importance of being in an unfamiliar environment and what that teaches you.

生徒のアンケートより

- ☆ 研修を終えて様々な学科への興味をもった。どの訪問先もとてもハイレベルなところで、高い技術や、そこにいる方々のすごさを感じて、様々なところで多くの刺激をうけた。それを生かしてこれからも様々なところへ興味をもち、それを深く調べていきたいと思った。また、英語で会話をしたことで感じたこともたくさんあった。自分の本当の英語の実力を痛烈に実感し、自分はまだまだだと感じた。この研修での訪問先の方々の中には英語圏の国でない人もたくさんいたけれど、みんな難なく英会話をこなしていた。これからはよりハイレベルな企業になるほど英語が重視されるので、英語をもっと頑張っていきたいと思った。
- ☆ 自分をとりまく環境がすべて英語だったので、コミュニケーションを取るには英語をしゃべるしかない。この環境はとても良かったように思う。相手の主張を聞き取るために必死に耳を傾け、理解するために必死に英単語を調べたりした。最初、講義やトリップリーダーの話はなかなか理解することができなかったが、上記のことを毎日積み重ねたおかげで、日を追うごとに彼らの英語が理解できるようになっていった。また僕は医療分野に興味があるので、医療系施設の最先端技術や医療に関する話は、とても興奮したと同時に勉強になった。自分が疑問に思ったことをある程度解決もできたため、さらに勉強になった。今回、研修で得た新たな知識、経験、そして自分の英語の通用した部分、また通用しなかった部分、それらすべてをひっくり返ってたくさんの経験をさせて頂いたことを感謝し、これからそれらがいつか生きる場面で活かしていきたいと思う。
- ☆ 科学の分野以外にも、海外で生活してみて、自分の視野が大きく広がった感じがします。物のみかたのいろんなパターンを知ることができました。一番おどろいた点は、ハーバード大学の学生の学習への積極性です。「自ら」という視点を自分にも用いることができれば良いなと感じました。私にとって、今回は初めての海外で、アメリカの文化や日本の文化とのギャップにとまどいでしたが、充実したプログラムにより、すぐに慣れることができました。

「アメリカ研修報告会」のご案内

9月12日(土) 蒼流祭 午前9時40分～10時35分 本校 第1体育館にて
今回のアメリカ研修の成果を、生徒が英語で発表します。その後、クラス展示もある予定です。